

巻頭言



今 中 富 夫

上牧町長
奈良県国民健康保険団体連合会理事

「ほほ笑みあふれる 和のまちづくりに」を目指して

上牧町は、大阪への通勤圏内という好条件下にあることから1971年（昭和46年）に人口増加率日本一を記録し、1972年（昭和47年）に町制が施行されました。これまで、先人のためめぬ努力により、豊かな自然と住宅、商業等が調和したベッドタウンとして発展を続けてまいりました。

そうしたなか、近年では人口減少や少子高齢化の急速な進行と、それに伴う地域におけるコミュニティ機能の低下、震災などの自然災害や刻々と変化する社会経済情勢に対する不安など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。これらの状況を踏まえ、まちづくりのテーマを「ほほ笑みあふれる 和のまちづくり」と掲げ、子育て支援や教育の充実、健康・生きがいづくりに取り組むとともに、コミュニティの再構築による防災対策や地域における見守り体制強化により町民の安全安心を確保し、誰もが幸せを感じることでできるまちづくりを目指しています。

健康・生きがいづくりに関しては、町民の健康的な生活習慣の定着を推進するため国保と健康増進担当課連携による「けんしんGO！ポイント事業」の実施、町民が主体的に取り組んでいる地域での体操教室「ときめきクラブ」など介護予防事業を展開しています。このような活動を通じて、町民一人ひとりが「健康寿命」を延ばし、いつまでも心身ともに充実した生活を送るため、町民の健康意識の向上を目指したいと考えております。

また、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていくために在宅医療、介護連携体制整備と地域包括ケアシステムの構築に向け、西和地域7町広域で取り組んでいます。

最後に、平成30年度からの国保県単位化に向け、今後はタイトなスケジュールの事務作業となりますが、県と市町村とがしっかりと連携を図りながら進めてまいります。